

## 奈良産・歯ブラシの魅力を地域社会に広め、共存共栄を目指す

株式会社 ライフレンジ 奈良県桜井市

### ■こだわりの歯ブラシを専門店から発信

株式会社ライフレンジは、現社長の大塚謙治氏が2005年に設立。社名の由来は「life is challenge」で、創業以来新たなことに果敢にチャレンジし業界で確固たる地位を築きつつある。

歯ブラシは大手メーカーが大量生産しており、消耗品との認識から特段のこだわりを持たない人も多い。同社の歯ブラシは植毛から配列、ハンドルまで職人のこだわりが詰まった自信作。大塚社長は、まず多くの人にその良さを知ってもらうことが重要であると考え、2019年5月に奈良市に県内初の歯ブラシ専門店『「みがきやすい」歯ブラシ Shop』をオープンさせた。奈良店は観光客でにぎわう近鉄奈良駅近くに立地し、地元の人はもちろん観光客にも好評を博している。

さらに2020年5月には天理市に2号店をオープン。スタッフから歯ブラシの正しい使い方やオーラルケアについて教えてもらえるだけでなく、店内で歯ブラシ作り体験が行えるなど地域に密着した店で、地元奈良での事業展開を重視する大塚社長の思いを表している。「お客さまの生の声を聞くことでスタッフはこれまでにない喜びを感じており、仕事に対するモチベーションも向上している」と大塚社長は語っており、数字に表れない効果も感じている。

### ■名工の技術を活かしたこだわりの歯ブラシ

同社のブランド『「みがきやすい」歯ブラシ』は、歯ブラシ製造会社の株式会社タナベ（奈良県田原本町、志村亮社長）と共同開発した国産品で、その丁寧かつ繊細な設計は日本のモノづくりを象徴する逸品である。

両社の出会いは大塚社長が志村社長から手渡された1本の歯ブラシから始まる。志村社長の祖父で歯ブラシ職人の田辺重吉氏の作品を手にとった大塚社長は、その素晴らしさと商品としての可能

性を直感した。そして商社勤務の経験で培った営業センスを活かし商品化に尽力、パッケージのデザインや広告宣伝など地道な活動を展開し徐々に知名度が向上、一度使うと良さを実感できることからリピート率は高く、今では大手の小売店で最前列の商品棚に陳列されるなど人気商品に成長した。

### ■地域社会の持続可能な成長に貢献

同社の歯ブラシは、奈良県で植毛・加工した純国産の地場産品である。大塚社長の奈良への思いは強く「地場産業が元気になれば地域社会は潤う。さらに多くの地元の方々に奈良産歯ブラシの良さを知ってもらいたい」と今後の事業展開も地域密着路線を継続する意向だ。

地域社会を常に意識する同社は、自社の成長と共に地域社会の持続可能な成長に貢献することも忘れない。同社では製造過程で発生する仕損品の再利用方法を模索するなど環境問題への取組みを強化していく方針。企業の社会的責任をしっかりと果たし、地域社会との共存共栄を目指していく。

(秋山利隆、八木陽子)



(左上から時計回りに)『「みがきやすい」歯ブラシ 極』/12か月の季節の絵柄が入った贈答用『四季折々』/『「みがきやすい」歯ブラシ Shop』外観(天理店)/天理店 Shop 内風景



大塚謙治 社長

### 株式会社ライフレンジ

〒633-0062  
奈良県桜井市粟殿 1025 番地 2  
TEL: 0744-46-9061  
FAX: 0744-45-2039  
URL: <https://lifellenge.com/>